

(議長)

次に、小林議員の発言を許可致します。

「小林議員」

はい、議長。

(議長)

「小林議員」。

「小林議員」

日本共産党の小林くにこです。通告に従って順次質問して参ります。宜しくお聞き致します。

まず、大項目1番であります。江差町での空き家バンク登録制度についてお聞きします。先の議員協議会で示された江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案では、移住、定住対策として、空き家、空き店舗バンク登録制度の取り組みが挙げられています。町の目標としては、登録件数30件となっておりますが、他の自治体で取り組んでいるのを私なりの調べてみましたが、本来、民間同士の不動産契約の実施に、行政が積極的に関わることは難しく、実施にあたっては大変な苦勞もされています。先進的な例も参考にしながら、江差町としても積極的に取り組んでいく必要があると思います。現時点で、江差町での空き家バンク登録制度をどのように展開していこうとしているのか、お聞きします。

次に、2番目、若者定住対策の観点から、町内の空き家利活用促進について、お聞きします。子育て世帯の中には、洗濯機や掃除機などの生活騒音や、子どもの声の心配、部屋数が少ないなどから、現在の町営住宅を住み替えたいですとか、町営住宅への居住をためらう等の声があり、支援策が必要かと思われれます。

また、Uターン、Jターン、Iターン希望者へは、住宅確保の支援策が必要になります。他の自治体の例では、町のリフォーム助成に助成額を上乗せするとか、町内で暮らし始めたときに中学生までの子ども一人につき50万円を支援する、不動産業者への仲介手数料を補助する等の大胆な取り組みもなされています。江差町での若者定住、空き家利活用促進にも、そのような取り組みも必要ではないでしょうか。ご答弁お願い致します。

「町長」

議長。

(議長)

「町長」。

「町 長」

小林議員の1問目、空き家バンク制度に関するご質問でございます。

空き家バンク制度につきましては、総合戦略の具体的取り組みに掲げていることから、実施期間である4年間の中で仕組み作りをしていきたいと考えております。

そのため、平成27年度補正である加速化交付金のメニューの一つとして、空き家の危険度調査を含む空き家調査を、平成28年度事業として行うこととしております。

また、本定例会におきましては、危険家屋である特定空き家に対し、措置を可能とする、空き家の適正管理に関する条例制定の提案をさせて頂きたいと考えております。本条例を施行するにあたり、危険家屋を把握することが第一義的な取り組みとして、空き家調査を行うこととしておりますが、併せまして、利用可能な空き家がどの程度存在するのかも把握できることとなっており、その後、所有者に対してバンク登録の意向を確認した上で、仕組み作りをしていきたいと考えております。

また、具体的な制度設計をする上では、議員ご指摘のとおり、不動産業者との関わりなど、課題があることは認識しているところでございます。

繰返しになりますが、まずは、利用可能な空き家を把握し、所有者への意向確認のち、北海道のバンク登録とも連携を図りながら、空き家バンクの制度設計に取り組んで参りたいと考えているところでございます。

次に、若者定住対策について、でございます。

過疎化や少子高齢化の進行、さらには、人口減少社会にあつて、若者の定住促進は喫緊の課題であります。このような中、町では、昨年、未利用町有地の売却と移住や定住を結びつける施策として、公有地等売却促進に関する奨励制度を創設したことは、議員もご存知のことと思います。

一方で、若者の移住や定住を促進するためには、雇用の場の確保も重要な要素であることは言うまでもありません。

江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定においては、若者のUターン、Iターン、Jターンに着目をし、交流人口の拡大による新たなしごとづくりをフレームとして、各種の施策を講じていくこととしております。

議員ご指摘の若者の定住対策や、空き家の利活用促進につきましては、今後の総合戦略を推進する上で、欠くことのできない施策ですから、仕組みや支援のあり方について、検討して参りたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

（議長）

「小林議員」。

「小林議員」

特定空き家や条例の件に関しては、了解しております。まだまだこれから動き出したと

ころであるということですね。

で、以下3点再質問致します。

まず、空き家問題は今まさに深刻になりつつあります。私も生活相談として、娘の札幌に引っ越しますが、その後どうしようか、借りてくれる人はいないだろうか等、私は宅建の資格等持っていませんので関わられません。そういったことも、問題もあります、深刻になりつつあります。特に江差町は潮風等で経年劣化も早く、維持費も大変です。この町で頑張っ家て家を建て、税金を納めてきた方々の家屋が、今では所有者にとって重い負担となりつつあります。この制度は運営主体が市町村でありますから、職員が通常業務をこなしながら、空き家バンクにも携わっていくのは負担が大きいと思われます。

そこで、お聞きします。一つ目ですが、江差町ではそのような専門部署を設ける検討はされていますでしょうか。

次に、二番目です。今回の総合戦略はまだ素案であります。項目と数字は恐らく粗粗の目標が挙がっているのだと思われます。これからの取り組みにもよるかと思われますが、この施策で若者や子育て家庭が必ず増える。故郷を離れた子どもたちが帰ってくるというのはなかなか厳しいのではないかと、私は思います。これからの具体的な取り組みの提案と致しまして、町を離れた方々へ、総合戦略では町を離れた若者5割が、仕事があれば町へ、江差町へ帰りたいと答えていると示されていますが、そういった方々へ積極的にダイレクトメールを送るとか、受け身ではなく積極的なU I J ターンの促進をして頂きたいと思いますが、如何でしょうか。

最後に三つ目です。少し通告とずれるかもしれませんが、現在町内に住んで頑張っている子育て世代の方々に不公平感が出ていけません。長期的なスパンで考えて、先程塚本議員も言及しておりましたが、保育料無料、給食費無料まで、そこまで切り込んで考えていかなければいけないと私は思います。一人の子どもを育てるために、夫婦で共働きをしなければいけないのが、今の子育て世代の現状です。是非、考えて頂きたいと思いますが、町長の思いやお考えをお聞かせください。ご答弁をお願いします。

(議長)

「総務課長」。

「総務課長」

まず始めにあの空き家対策に関する専門部署の設置をどう考えるかというところがございますけれども、今現在は防災担当の一つとして、私共総務課の方で担当はさせて頂いております。まだあの制度設計等整っていない状況もございますので、私共の方で今整理等含めてやっているところがございます。

それと、対策と空き家対策とそれと利活用、これらの総合的なところでは今私共ですけれども、今後、空き家バンクのことにしましてはですね、今後まあこの部署が適切な

のかということも含めてですね、あの内部協議をさせて頂きながら、あの専門とは言いませんけれども、あの適切な部署にこの空き家対策の分についても、取り組んでいきたいなという風に思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

2問目の総合戦略の具体的な取り組み、推進、それと若者に対するダイレクトメール等の工夫をしたらどうかというご指摘でございます。

総合戦略につきましては、全員協議会でもお話ししましたとおり、今後、国の地域再生法の改正を待って、地域再生計画を立てていきます。その中で具体的な事業を計画に載せていくというスケジュールで今進んでおりますが、基本的には若い人のアンケートの中にもう1点必要なものがありました。江差に帰ってきたいという人は7割位いるのですが、その条件として、一定程度の収入が無ければ駄目だというのも一つのハードルでございます。ある意味、これから進める総合戦略というのは、ただ職場を作る、雇用の場を作るのではなくて、質も伴ったですね、雇用環境を作らなければならないっていうのも私共認識しておりますので、今あるこの3本の矢ですか、一次産業の振興、或いは交流人口の拡大、そして若者チャレンジ、こういったメニューをきちんと計画に載せて、具体的に見える事業を進めていくように今地域再生計画を策定中でございますので、策定次第、議会の皆様にお示ししていきたいと思っておりますので、ご理解願います。

(議長)

はい、「町民福祉課長」。

「町民福祉課長」

あの保育料の無料化につきましてはですね、先程もあの塚本議員の質問の際にお答えした通りですね、国の制度改革、あの段階的に無償化っていうことが打ち出されておりますので、その推移を見ながらですね、検討させて頂きたいと思っております。

(議長)

はい、いいですか。

「小林議員」

はい。

(議長)

はい、2問目。

「小林議員」

2問目。はい、議長。

(議長)

「小林議員」。

「小林議員」

ご答弁、前向きなご答弁だったと思います。これからの江差の将来を見据えた町政に期待しています。

次の質問に移ります。

まず、大項目1番目、平成28年度予算での各公園における整備等の予算の使途及び管理について、2点お聞きします。

1点、どの公園にどのような遊具を補修、撤去する方針なのか。

2番、各公園の利用児童の年齢を把握し、適切な遊具を設置するため、また全町民の皆さんが快適に利用するために要望を調査等する検討はされているのかお聞きします。

2番目です。冬季間の茂尻児童公園の安全管理について、お聞きします。

冬季間の茂尻児童公園は、町指定の雪捨て場ではありませんが、実質的には公園として開放されております。平成27年9月の定例議会において、冬季間の遊び場の提供はできないかと一般質問致しましたが、ご答弁は安全性の問題で難しいということでした。

しかし、実際は現在も子どもたちが冬場も公園として利用しています。開放している以上、子どもたちが遊ぶのは当然であります。しかし、何か事故が起きてからの対策では遅すぎます。安全管理についての行政の問題意識、そしてこれからの公園としての冬場の利用をどうしていくのか、お聞きします。ご答弁をお願いします。

「町長」

議長。

(議長)

「町長」。

「町長」

どのような、どの公園にどのような遊具を補修・撤去するのかというご質問ですが、公園の設備や遊具、利用に関しましては、今年の第3回定例会において小林議員からご質問が

あったところであり、また第4回定例会におきましては、社会文教常任委員会からも公園の有効利用について調査報告があったところですが、町と致しましては当面、補修を順次進めていくこととしており、平成28年度予算に所要の経費を計上したところでございます。

具体的な補修箇所でございますが、逆川森林公園につきましては、公園内の案内板を新たに設置し直し、バーベキュー台2基をベンチと併せて補修する予定でおります。その他の公園につきましては、個別に予算の貼り付けはしておりませんが、予算の範囲内で破損の程度を勘案しながら補修や撤去をしていくこととしております。

次に、公園の利用児童の年齢の把握や快適な利用のための調査というご質問ですが、公園を利用されている方は公園がある地域の方々だけに限らないことや、利用される時間帯も様々でありますことから、利用児童の年齢を把握することは困難であると考えております。そのようなことから、ご質問のような調査につきましては予定をしておりますが、本年度は順次遊具及び設備を含め、公園の点検をして補修するなど、利用者が安全に利用できるよう努めていきたいと考えております。

次に、茂尻児童公園の安全管理についてのご質問ですが、公園横の道路の除雪をした雪を置いておりますが、これは道路の幅の確保のため除雪した雪を公園内に置いているものでございます。しかしながら、雪場でも児童が、冬場でも児童が遊んでいることを考えれば議員が危惧するとおり、安全性に配慮すべきであると考えておりますので、巡回など何らかの対策を検討していきたいと考えております。

また、冬場の公園としての利用でございますが、冬場は遊具の利用はなかなかできないものの、外で駆け回ったり、雪遊びしたりなどの場として利用して頂くこと、頂くということであり、特別な対応をすることは考えておりませんので、ご理解願えればと思います。

(議長)

いいですか。

「小林議員」

はい。

(議長)

「小林議員」。

「小林議員」

3点再質問致します。

まず1点目ですが、まず九艘川公園についてであります。

樋の沢へ上がる坂道の町道側に公園の塀の屋根部分が突き出ており、車両や歩行者の通

行に障害といたしますか、邪魔といたしますか、尖がっているのが危険であるとは私に思っています。景観等も大事かと思われませんが、まずは町民の暮らしやすさが前提です。撤去も検討して頂きたいと思いますが如何でしょうか。

2点目です。公園全体の古い遊具の撤去や補修も、そして新たに新設するにしてもお金がかかります。管理をしっかりと継続して行い、テーマを決めた都市公園作りによって、遊具は設置したがあまり使われずに放置され劣化し、また撤去に税金をかける等の無駄をなくすことにも繋がります。町の執行方針では、公園については複数年にわたって計画的に整備を行うとありますが、これからの都市公園作りの方針を具体的に何年位で整備していくのでしょうか。まさか5年、10年ということは無いとは思いますが、私としては1年、2年でどうか整備を完了して頂きたいと思います。

3点目です。これは茂尻児童公園だけに関してではありません。外気、冬場、冬季間ですね、外気温に限らず天気の良い日は雪も解け、危険な状態になるかと思われれます。そういった安全性を、今一度担当課で真剣にシミュレーションして、融雪の危険がある場合、その日に一時的に閉鎖、公園を閉鎖するとか、そういったことは検討されない、されていないでしょうか、質問致します。

(議長)

「財政課長」。

「財政課長」

1点目の九艘川公園に関しましては、ちょっと私あの確認しておりませんので、確認次第、危険や支障がありましたら撤去する方向で検討していきたいと思えます。

それから2点目の、2点目の何年位でということをございますけれども、あの撤去で2年から3年位どうしてもかかってしまうかなと考えてございます。その後、新たな遊具の整備が出来ればと、都合5年から6年はかかるかなということで、担当課としては、考えてございます。

それから冬場の公園の見回りでございますけれども、今後あの定期的にそういった公園、冬場の公園の見回り等しまして、そういった雪の事故とかそういったものがないように、どういう風に来るかちょっと課内でも検討していきたいと思えますので、ご理解お願い致します。

(議長)

はい、いいですか。

「小林議員」

はい、議長。

(議長)

「小林議員」。

「小林議員」

若者世代の定住を進めるのならば、まずは生活基盤の改善をして頂きたいと思い、申し上げて私の一般質問を終わらせて頂きます。

(議長)

はい。以上で、小林議員の一般質問を終わります。